

部落差別問題から考える

# 私の中の差別意識

私は差別していない  
……本当に、そう言いきれますか？

24分

ワークシート付き

DVD(字幕版付き) 69,300円(本体66,000円) [C#3941]  
VHS 通常版 69,300円(本体66,000円) [C#3942]  
VHS 字幕版 69,300円(本体66,000円) [C#3943]



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17  
<http://www.toei.co.jp/edu/>

## 企画意図

部落差別問題を通し、人の中に巣食う差別意識への気づきを促してゆきます。あからさまな部落差別は影を潜めましたが、まだまだ結婚差別や就職差別などは残っているのが現状です。この作品では、ドキュメンタリーを通し、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのか考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。

### パート1

現代の部落差別の特徴のひとつは、インターネットでの悪質な書き込みなど、差別問題がみえにくくなっているということです。

それゆえ、人々は差別問題に関し、無関心になりつつあります。

人権問題に詳しい竹内良さんは語ります。

「差別とは、『バカにする』『仲間外しにする』『いじめる』そして、『人を傷つける』ことだ」あなたは身近なところにおきている差別を見落としていませんか？

——差別とはなにか、考えてみましょう

### パート2

「部落の人と、子どもが結婚って言ったらどうするだろうね。ちょっと考えるね」

「汚い食べ方すると『エッタみたいな食い方すな』って」

取材された人々の何気ない一言に、差別意識が見え隠れしています。

差別について、深く考えず偏見を持ち続ける人々と、結婚差別に苦しむ女性のインタビューを通して、

——なぜ差別は残るのか、考えてみましょう

### パート3

人権啓発に取り組む川口さんは語ります。

「差別する側を不自由にする。だから自分のために学習してほしい」

また隣保会館の館長、村上さんは語ります。

「この社会で、差別心を持たず育つ人なんかいない。

しかし人は、学習することで偏見に気づき、変わることができる存在だ」

——あなたの中にある差別、偏見について考えてみましょう



東京人権啓発企業連絡会  
啓発委員長 竹内良



山口県人権啓発センター  
事務局長 川口泰司



西条市氷見交友会館  
館長 村上進

プロデューサー・・・喜多 香織  
脚本・監督・・・柳原 秀年

制作協力・・・株式会社キットクルー

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

2010年作品

s.

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631  
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026  
広島出張所 広島市中区橋本町5-2 〒730-0015 ☎082-511-2066  
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係  
香川県高松市屋島西町2484-8  
TEL 087-841-1100  
FAX 087-841-1101